

平成27年度第4回海外姉妹都市提携検討市民会議（平成28年3月24日開催）
■海外都市との交流事業等について

海外都市との交流事業を含め、今後の検討の進め方等について意見交換を行い、「海外姉妹都市提携は行う」ことが、挙手全員で一致した。

1. 海外姉妹都市の実施について

- ・市民会議として、海外姉妹都市提携を行うか、行わないかについて委員の挙手により意見を伺った。

【結果】参加委員13人の挙手全員で「海外姉妹都市提携は行う」ということで一致した。

2. 今後の検討の進め方等について

（主な意見）

- ・交流事業の中身をどうしたらいいかを絞り込んで、具体的に話をした方がいい。
- ・選定をしていく上では、自治体国際化協会を利用していくのは現実的に難しいと思った。
- ・市民あるいは市民団体と関わりのある海外都市などを洗い出して、そこから絞り込んでいくのが現実的だと思う。
- ・仲介してくれる方がいないと、現実的な話にならない。
- ・フォスターシティ市との関係もあやふやな状態で、向うへも回答をきちんとしなければいけないのではないかと思う。

- ・きっかけができたということでは、フォスターシティ市も検討の中に入れたらいいと思うが、国際交流の会の方が今まで築き上げてきた交流もあるので、どちらの方向にしたらいいのか方向付けが必要。
- ・他市の海外姉妹都市との交流の目的、規模、距離等、提携した理由を調べて、稲城市に参考になるかどうかを検討したらもっとピンとくると思う。
- ・アメリカだけでなく、今後日本との関係が出てくるとされるインドやベトナムについても、経済交流などが民間交流へと繋がっていくことはよくあるので、そういう視点から候補地を選定していくのもよい。
- ・相手先についても、一方通行の国を選ぶのではなく、今まで稲城と交流のあったオレゴン州とかモンゴルとかを候補地として考えてはどうか。
- ・市民会議をゼロベースでやってきて、いろいろな意見が出ているが、出てきた意見をまとめてもらい、その中で、市民会議でどこまで検討していくのがいいかを決めるのがよい。
- ・一か所を決めるのはなかなか難しいので、何か所か少しずつ絞っていくのが良い。
- ・対象や目的などを絞っていかないと、議論が様々なところに多岐に渡ってしまうので、検討が上手く進まないと思う。
- ・稲城市も多摩サービス補助施設があり、防災面ではカリフォルニア州とはすごく共通する部分があると感じた。
- ・小・中学校では英語が使われているという事を踏まえ、英語圏がいいと思う。
- ・市民会議をゼロベースでやってきたが、まだ全然意見が出切っていないと思う。
- ・英語圏じゃない所も、話に結構出てきており、稲城市としても英語圏ではないところとも交流があり、もう少し時間をかけて考えた方がいいと思う。
- ・他市の例を見ても、知っている方が在住していたり、相手方を知っているなど、そういう何らかの関係があるところが、姉妹都市になっていると思う。

- ・ 専門家を交えて、アドバイスをもらえれば、市民会議としても検討ができるのではないかと思う。
- ・ 今まで国際交流をしていた所や、どなたか紹介してくれる所なり、フォスターシティ市も候補に入れて考えて行くのも良いと思う。
- ・ 子ども、学生をメインで国際交流をするのか、経済的な面から交流をするのか等、方向性を決めたらよい。
- ・ 行政として、しっかりした目的や考え方をきちんと出してもらわないと話が進展しないと思う。
- ・ 姉妹都市の目的について、市民会議でもいくつか意見が上がっているので、それを行政で細かく整理し、それを次年度の会議で出してもらいたい。

3. 行政への質問や要望等について

今後の検討の進め方を含めて、行政に対して質問や要望等をいただいた。

(主なご意見と行政からのご回答)

- ・ 市民会議の結論として、どの辺までを最終的に答申していけばいいのか。
→[回答]市民会議として3つのミッションがあり、①海外姉妹都市の在り方、②候補地の選定、③具体的な交流事業の内容について、市民会議として提言としてまとめてもらうのが最終的な帰着点です。
- ・ 例えば、平成28年度中に全て決めたいというような、時期の目標はあるのか。
→[回答]交流の内容や、候補地の洗い出し等は、市民会議の中でいろいろ検討できる素材が出てきているので、市民会議の中で、平成28年度に決めましょうという目標を設定していただければ、そのようになります。

- ・次年度(平成28年度)の予定について伺いたい。
 - 〔回答〕海外の経験のある市民の方を公募して、人数を2人増やしたいと考えています。全体的な会議の回数は5回を予定していますが、調査費として何に使っても大丈夫な予算を計上しているため、専門部会を作ってより少人数で細かく議論していただいたり、全体の会議の回数を増やしたり、先進自治体から意見を伺うことや、最終的に候補地が決まったらその都市を見に行くこともできます。やり方、決め方、進め方については、市民会議で議論いただいた中で、どの方法が良いかを決めて進めて行っていただきたいと思います。
- ・行政として、しっかりした目的や考え方をきちんと出してもらわないと話進展しないと思う。また、姉妹都市の目的について、市民会議でもいくつか意見が上がっているのので、それを行政で細かく整理し、それを次年度の会議で出してもらいたい。
 - 〔回答〕皆さんが論点を絞ってご議論いただけるようにするのも事務局の役割です。いままでに市民会議の中でいただいた意見を踏まえて、3つのミッションの細かい内容を行政の方で再度整理し、各項目の中で細分化・分類させていただいて、平成28年度の第1回の市民会議でご提案します。